

第 2 章 田辺市の概要

2-1. 位置・面積

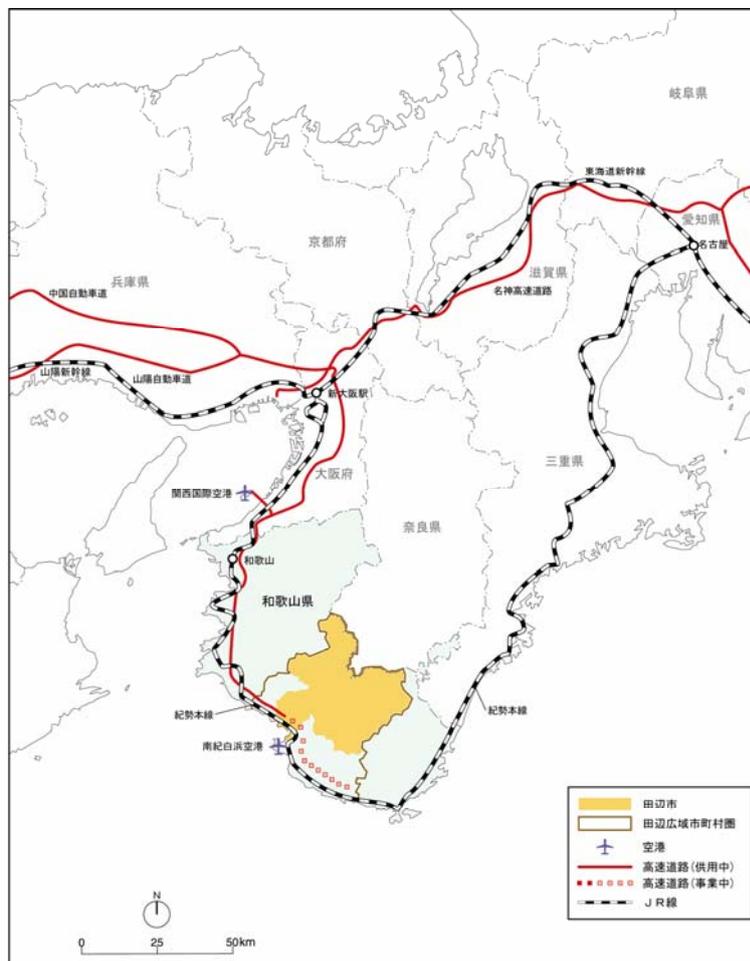
田辺市は紀伊半島の南西部、和歌山県の南部に位置しており、みなべ町、印南町、日高川町、有田川町、新宮市、古座川町、白浜町、上富田町、奈良県野迫川村・十津川村にそれぞれ隣接しています。

西よりの海岸部に面した市街地を中心として、左会津川等に沿って中山間地域が形成され、(主な水系としては日高川水系、富田川水系、日置川水系、熊野川水系の 4 水系を抱える、広大な圏域となっています。)

市域は東西約 45 k m、南北約 46 k m、総面積は約 1,026 k m²であり、和歌山県全域の約 22%と県内第 1 位の面積を占めています。

海岸部に沿って J R 紀勢本線が通っており、紀伊田辺駅から大阪市内への所要時間は、約 2 時間となっています。また、田辺市街地から京阪神地域・関西国際空港までは約 2 時間、南紀白浜空港から東京まで約 1 時間の時間距離にあり、さらに平成 19 年 11 月 11 日には、阪和自動車道(みなべ I C～南紀田辺 I C)が開通したことで、京阪神地域との時間距離が短縮されました。

田辺市位置図



2-2. 土地・気候

地形については、平野が少なく海岸部からすぐ山岳地帯へと移行しており、森林面積が約 917 k m² と全体の約 9 割を占めています。

また、気候は、海岸部の温暖多湿な太平洋型気候から、紀伊山地に属する山岳が連続する山間地の寒暖の差が激しい内陸型の気候まで広範囲にわたっており、年間平均気温は 13.1 度から 17.1 度、年間降水量は 1,780mm から 2,860mm、年間日照時間は 1,343 時間から 1,995 時間とかなりの地域差が見られます。

2-3. 人口の動向

1. 人口及び世帯数の推移

田辺市の人口は、昭和 60 年をピークに年々減少傾向にあります。旧町村別では、旧田辺市が 68,117 人と全体の 82.6% を占めています。

平成 17 年の国勢調査では、田辺市の高齢化率は、25.2% と和歌山県の 24.1%、全国平均の 20.1% を上回っており、高齢化が進んでいることを示しています。

世帯数については、平成 17 年の国勢調査で 32,643 世帯となっており、年々増加傾向にあります。

◆人口の推移

(単位：人)

	昭和 55 年 (1980 年)	昭和 60 年 (1985 年)	平成 2 年 (1990 年)	平成 7 年 (1995 年)	平成 12 年 (2000 年)	平成 17 年 (2005 年)
田 辺 市 計	88,130	88,263	86,143	86,159	85,646	82,499
旧田辺市	69,575	70,835	69,859	70,246	70,360	68,117
旧龍神村	5,353	5,110	4,847	4,642	4,461	4,103
旧中辺路町	4,636	4,343	4,027	3,863	3,710	3,450
旧大塔村	3,512	3,351	3,181	3,285	3,246	3,259
旧本宮町	5,054	4,624	4,229	4,123	3,869	3,570

資料：国勢調査（各年 10 月 1 日）

◆年齢別人口の推移

(単位：人)

	昭和 55 年 (1980 年)	昭和 60 年 (1985 年)	平成 2 年 (1990 年)	平成 7 年 (1995 年)	平成 12 年 (2000 年)	平成 17 年 (2005 年)	全国平均 平成 17 年
総人口	88,130	88,263	86,143	86,159	85,646	82,499	—
年少人口 (14 歳以下)	20,569 23.3%	19,055 21.6%	16,299 18.9%	14,544 16.9%	13,418 15.7%	11,843 14.4%	— 13.7%
生産年齢人口 (15～64 歳)	56,509 64.1%	56,919 64.5%	55,599 64.5%	54,618 63.4%	52,710 61.5%	49,799 60.4%	— 65.8%
老年人口 (65 歳以上)	11,052 12.5%	12,281 13.9%	14,185 16.5%	16,988 19.7%	19,483 22.7%	20,829 25.2%	— 20.1%

資料：国勢調査（各年 10 月 1 日）

◆世帯数の推移

(単位：世帯)

	昭和 55 年 (1980 年)	昭和 60 年 (1985 年)	平成 2 年 (1990 年)	平成 7 年 (1995 年)	平成 12 年 (2000 年)	平成 17 年 (2005 年)
田辺市計	27,646	28,417	29,133	31,033	32,459	32,643
旧田辺市	21,390	22,281	23,057	24,873	26,320	26,652
旧龍神村	1,631	1,595	1,627	1,669	1,635	1,605
旧中辺路町	1,600	1,574	1,549	1,520	1,529	1,498
旧大塔村	1,144	1,153	1,169	1,217	1,250	1,261
旧本宮町	1,881	1,814	1,731	1,754	1,725	1,627

資料：国勢調査（各年 10 月 1 日）

第 2 章 田辺市の概要

2. 人口動態

自然動態については平成 10 年度の増加以降、年々減少傾向にあり、特に平成 14 年度以降は死亡者数が出生者数を大きく上回っています。

社会動態についても、転出者数が転入者数を大きく上回っており、特に平成 15 年度と 18 年度にはその傾向が大きくなっています。

◆人口動態の推移

(単位：人)

	自然動態			社会動態			増減
	出生者数	死亡者数	増減①	転入者数	転出者数	増減②	①+②
平成10年度	882	857	25	2,913	3,299	△386	△361
平成11年度	780	798	△18	3,014	3,219	△205	△223
平成12年度	809	823	△14	2,874	3,155	△281	△295
平成13年度	779	861	△82	2,816	3,094	△278	△360
平成14年度	759	859	△100	2,747	2,950	△203	△303
平成15年度	738	852	△114	2,622	3,194	△572	△686
平成16年度	675	923	△248	2,584	2,951	△367	△615
平成17年度	692	934	△242	2,356	2,759	△403	△645
平成18年度	648	936	△288	2,229	2,790	△561	△849

資料：田辺市 市民課 △：減少を示す

3. 和歌山県及び田辺市周辺市町の年齢別（3区分）人口

平成 17 年の国勢調査の年齢階層別人口を見ると、年少人口（0 歳～14 歳）は 14.4%、生産年齢人口（15 歳～64 歳）は 60.4%、高齢人口（65 歳以上）は 25.2% となっています。

年少人口は、和歌山県平均 13.8%、を上回っていますが、田辺市周辺の上富田町の 16.3%、みなべ町の 15.9% を下回っています。

生産年齢人口は、和歌山県平均 62.0%、上富田町 64.4% を下回っていますが、みなべ町 58.6%、白浜町 59.6% を上回っています。

高齢人口は、和歌山県平均 24.1%、上富田町 19.3% を上回っていますが、みなべ町 25.5%、白浜町 27.6% を下回っており、高齢化は和歌山県平均を約 1 ポイント上回っていることを示しています。

◆年齢別人口

(単位：人・%)

	総数	0歳～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
		人口	比率	人口	比率	人口	比率
和歌山県	1,035,969	142,670	13.8	642,428	62.0	249,473	24.1
和歌山市	375,591	50,646	13.5	241,442	64.3	82,838	22.1
田辺市	82,499	11,843	14.4	49,799	60.4	20,829	25.2
みなべ町	14,200	2,253	15.9	8,327	58.6	3,620	25.5
上富田町	14,775	2,408	16.3	9,513	64.4	2,854	19.3
白浜町	19,206	2,468	12.9	11,444	59.6	2,686	27.6

資料：平成 17 年国勢調査

4. 観光客の動向

田辺市は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録された「熊野古道」や「熊野本宮大社」に代表される史跡や日本有数の秘湯、自然環境保全の象徴である天神崎をはじめとして豊かな海など、人々の心とからだを癒す文化と自然にあふれた地域であり、年間 350 万人を超える観光客が訪れています。

◆観光客の状況

(単位：人)

	全体		
	日帰り	宿泊	合計
平成 16 年 全市 (内旧田辺市)	3,204,140 (677,937)	444,128 (179,709)	3,648,268 (857,646)
平成 17 年 全市 (内旧田辺市)	3,753,472 (761,376)	410,231 (160,056)	4,163,703 (921,432)
平成 18 年 全市 (内旧田辺市)	3,200,046 (793,281)	380,577 (151,280)	3,580,623 (944,561)

資料：県観光振興課

2-4. 田辺市における障害者の現状

平成 19 年 4 月時点での障害者手帳所持者総数は 4,737 人、その内身体障害者手帳所持者数は 3,799 人、療育手帳所持者数は 619 人、精神障害者保健福祉手帳所持者数は 319 人となっています。

手帳所持者総数に対する割合では、身体障害者手帳所持者が 8 割以上を占め、平成 16 年から平成 19 年までの障害者手帳所持者は 358 人の増加となっています。

◆障害種別手帳所持者数

(単位：人)

	手帳所持者総数	身体障害者 手帳所持者数	療育手帳 所持者数	精神障害者保健 福祉手帳所持者数
平成 16 年	4,379	3,594	569	216
平成 17 年	4,512	3,660	599	253
平成 18 年	4,578	3,711	594	273
平成 19 年	4,737	3,799	619	319

※各年 4 月時点の数値

1. 身体障害者手帳所持者の状況

平成 19 年の身体障害者手帳所持者を等級別に見ると、「1 級」が 1,128 人(29.7%)と最も多く、次いで、「4 級」、「2 級」の順になっています。

障害種別では、「肢体不自由」が 2,107 人(55.5%)と最も多く、次いで、「内部障害」、「聴覚障害」、「視覚障害」、「言語障害」の順になっています。

◆等級別身体障害者手帳所持者数

(単位：人)

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
平成 16 年	1,089	626	524	744	253	358	3,594
平成 17 年	1,094	650	539	766	251	360	3,660
平成 18 年	1,081	663	548	795	259	365	3,711
平成 19 年	1,128	665	558	830	250	368	3,799

※各年 4 月時点の数値

◆障害種別身体障害者手帳所持者数

(単位：人)

	視覚障害	聴覚障害	言語障害	肢体不自由	内部障害	計
平成 16 年	283	518	54	1,960	779	3,594
平成 17 年	274	515	55	2,017	799	3,660
平成 18 年	267	509	55	2,069	811	3,711
平成 19 年	277	497	59	2,107	859	3,799

※各年 4 月時点の数値

2. 療育手帳所持者の状況

平成 19 年の療育手帳所持者の等級別では、「B 1」が 193 人（31.2%）と最も多く、次いで、「A 1」の 150 人（24.2%）の順になっています。

◆等級別療育手帳所持者数 (単位：人)

	A 1	A 2	B 1	B 2	計
平成 16 年	138	140	175	116	569
平成 17 年	137	143	193	126	599
平成 18 年	129	143	186	136	594
平成 19 年	150	131	193	145	619

※各年 4 月時点の数値

3. 精神障害者保健福祉手帳所持者の状況

平成 19 年の精神障害者保健福祉手帳所持者の手帳の等級別では、「2 級」が 152 人（47.6%）と最も多くなっています。

◆等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数 (単位：人)

	1 級	2 級	3 級	計
平成 16 年	44	125	47	216
平成 17 年	49	144	60	253
平成 18 年	57	152	64	273
平成 19 年	45	152	122	319

※各年 4 月時点の数値

4. 発達障害者の状況

バリアフリー新法での障害者の範囲は、身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者を含むすべての障害者を対象としています。

身体障害者、知的障害者及び精神障害者には、これまで記載したように、それぞれ身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳があり、それぞれの手帳数により障害者数の把握ができますが、発達障害者には、同様の手帳の制度がないことから、その数の把握は困難な状況となっています。

平成 14 年 2 月から 3 月にかけて、文部科学省が小・中学生を対象として実施した調査では、知的障害はないものの、学習面や行動に著しい困難を持っているとした児童・生徒の割合が 6.3%となっています。その数そのまま発達障害の割合を示すものではありませんが、その中には、少なからず、発達障害が原因となっているものも含まれていることが推測されます。また、田辺市では、発達障害に関する相談支援を実施していますが、そこには、多くの発達障害児者や家族等から相談が寄せられています。